

復活する

ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十五スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。イエスは、「歩きながら、やり取りしているその話は何かのことですか」と言われた。二人は暗い顔をして立ち止まった。その一人のクレオパという人が答えた。「エルサレムに滞在しているながら、この数日そこで起こったことを、あなただけはご存じなかったのですか。」イエスが、「どんなことですか」と言われると、二人は言った。「ナザレのイエスのことです。この方は、神と民全体の前で、行いにも言葉にも力のある預言者でした。それなのに、わたしたちの祭司長たちや議員たちは、死刑にするため引き渡して、十字架につけてしまったのです。わたしたちは、あの方こそイスラエルを解放してくださると望みをかけていました。しかも、そのことがあってから、もう今日で三日目になります。ところが、仲間の婦人たちがわたしたちを驚かせました。婦人たちは朝早く墓へ行きましたが、遺体を見つけずに戻って来ました。そして、天使たちが現れ、『イエスは生きておられる』と告げたと言うのです。仲間の者が何人か墓へ行って見たのですが、婦人たちが言ったとおりで、あの方は見当たりませんでした。」そこで、イエスは言われた。「ああ、物分かりが悪く、心か鈍く預言者たちの言ったことすべてを信じられない者たち、メシアはこういう苦しみを受けて、栄光に入るはずだったのではないか。」そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。

一行は目指す村に近づいたが、イエスはなおも先へ行こうとされる様子だった。二人が、「一緒にお泊まりください。そろそろ夕方になりますし、もう日も傾いていますから」と言っても、無理に引き止めたので、イエスは共に泊まるため家に入られた。一緒に食事の席に着いたとき、イエスはパンを取り、賛美の祈りを唱え、パンを裂いてお渡しになった。すると、二人の目が開け、イエスだと分かったが、その姿は見えなくなった。二人は、「道で話しておられるとき、また聖書を説明して下さったとき、わたしたちの心は燃えていたではないか」と語り合った。

ルカによる福音書 24章13～32節

これは『聖書 新共同訳』の抜粋です。さらに聖書をお読みください。聖書は、お近くの書店で取り扱っております。

NI860P-S-2704 絵 原田 陽子

財団法人 日本聖書協会 東京都中央区銀座 4-5-1 電話03(3567)1987



No.2469		復活日 礼拝式順序	2025年4月20日 午前10時30分
		受付 司会 献金 奏楽	礼拝当番は 礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。
前 奏			
招きの言葉	[42]	ヨブ記第19章25節	司会者
讃美歌	24		一同
子どもたちへのお話			
祈り			司会者
聖 書		ヨハネ黙示録1:17-18 (新約聖書453ページ)	
讃美歌	318 (1-2節)		一同
お 話		「代々限りなく生きている」 川上直哉 牧師	
讃美歌	318 (3-4節)		一同
献金			一同
報告			司会者
讃美歌	91 (1節)		一同
祝福の祈り			
後 奏			
*当教会では 着席のまま礼拝を守っています。 *旧約聖書は前半(P.1502まで)、新約聖書はその後ろです。 *献金の額はいくらでも結構です。持ち合わせがないときは次の機会に。			
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 本日、10時半からの礼拝の後、墓前礼拝をいたします。			

〇〇〇〇〇〇〇 今週の集会 〇〇〇〇〇〇〇〇			
☆「初心に帰ってルカ福音書を読む」	4月22日(火)	10:30～	オンライン併用
☆「御言葉と祈りの時」	4月23日(水)	19:30～	オンライン併用
☆「荊冠の神学」読書会	4月24日(木)	10:30～	オンライン併用
〇〇〇〇 次週の予告 (4/27) 〇〇〇〇			
☆ 復活節第一主日礼拝 (お話：中澤竜生 宣教師)			
[聖 書]	箴言4章20～23節		
[お 話]	「いのちの泉はこれから湧く」		
[讃美歌]	25	聖歌273番 91	[招きの言葉] 45
受 付	礼拝当番は礼拝堂に集まった人の中で 可能な方に担当いただきます。		
奏 楽			

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 お知らせ 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- ✦今後の予定は以下の通りです
- ・4月27日(日) 10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当
 - ・5月11日(日) 礼拝堂にて聖餐式執行
 - ・5月27～28日(火～水) 日本基督教団東北教区総会
 - ・6月8日(日) ペンテコステ
 - ・6月15日(日) 10時半からの礼拝を中澤宣教師が担当

《 先週の集会統計 》			
聖日礼拝	20人	み言葉と祈りの会	4人
早朝礼拝	2人	聖餐式	—
月定献金		特別献金	
齋藤みや子・小杉澄子 (以上、4月)		齋藤みや子・小杉澄子 (以上、聖餐式・イースター・会堂修繕)	
石井龍子 (4-5月)			
席上献金	¥25, 200	石井龍子 (イースター)	

週 報 別 冊

2025 年 4 月 20 日号

1. 教会宛に、以下の通信が届いています。

【日本基督教団・東北教区関係】

- 「地区婦人会総会のご案内」（日本基督教団東北教区宮城北地区婦人会）：5 月 9 日（金）11 時から、仙台川平教会にて、総会が行われる旨の連絡を頂きました。石巻山城町教会に着任された小松理之牧師とそのお連れ合い様である郁美さんとの交流会が企画されています。ご参加希望の方は、どうぞ、川上までお知らせください。
- 「地区牧師会開催のお知らせ」（日本基督教団宮城北地区牧師会）：5 月 13 日（火）11 時から、仙台北教会にて、小野寺牧師の発題で行われる旨の連絡を頂きました。
- 「東北教区 ユース新歓 BBQ へのお誘い」（日本基督教団東北教区宣教部）：5 月 5 日（月）11 時から、日本基督教団仙台宮城野教会にて行われる催事の連絡を頂きました。
- 「角笛」（日本基督教団仙台北三番丁教会）：「2022 年度に解散することに決まった婦人会と壮年会は、形を変え、性別や年齢関係なく教会員全員を包括して活動を進めていく」ことが今年度から具体的に始動したことを報告する「北三会の発足」（佐藤博之さん）等が掲載されています。
- 「センターニュース」（神戸学生青年センター）：日本基督教団兵庫教区センターの後身の団体からの通信です。「阪神・淡路大震災・・・共に生きた留学生たち」（神戸大学名誉教授 瀬口郁子さん）等が掲載されています。

- 「学報」（日本聖書神学校）：79 周年を迎える日本基督教団の夜間神学校からの通信です。「『気弱な』預言者の『言葉への責任』」（小林祥人 教授）等が掲載されています。

【その他教会・団体関係】

- 「止揚」（社会福祉法人汀会）：AI 化を進め「データ化」から零れ落ちるものを切り捨てて実現する「持続可能な開発目標」の先に、障がいと共に生きる仲間の幸福が見出せるだろうか、と問う「福祉の未来」（止揚学園 園長 福井生さん）などが掲載されています。
- 「ニュース」（カトリック部落差別人権委員会）：群馬県にある国立療養所栗生楽泉園を訪問し続けている方の寄稿「ハンセン病問題をあらためて学ぶ」（根津正幸さん）等が掲載されています。
- 「こころなないろ」（カリタスみちのく）：カトリックの支援センターとして継続してきた「カリタス釜石」と「カリタス大船渡ベース」が、それぞれ2025年3月で終了したことの報告と感謝が記されています。
- 「CIMIM ニュース」（マイノリティー宣教センター）：第七回マイノリティ・ユース・フォーラム in Mae Sot の報告「メーソットでの出会いを振り返って」（カトリック信徒 岡田紅里子さん）等が掲載されています。

2. 牧師動静

4月14日（月）

午前中、教会で執務し、午後から夜にかけて、全キリスト教教誨師連絡協議会大会実行委員会と「雅歌」読書会を、オンラインで主宰しました。

4月15日（火）

日中、エマオで執務し、夜、「宣教論」読書会をオンラインで主宰しました。

4月16日（水）

午前中、蛇田復興公営住宅集会場で仙台 YMCA・石巻広域ワイズメンズクラブが主催する「ストレッチヨガ」に参加し、午後、十三浜で「キリシタン読書会」を主宰し、夜、祈祷会を主宰しました。

4月17日（木）

午前中、日本聖公会仙台教区で「リトリート」に参加し、午後、石巻で墓碑の確認をしました。

4月18日（金）

日中、休暇を頂き、夜、石巻広域ワイズメンズクラブの例会に出席しました

4月19日（土）

午前中、エマオで「侍」読書会を主宰し、午後、石巻でワイズメンズクラブ東日本区大会現地実行委員会を主宰しました。

- 先週日曜日、総会が無事に開催されました。新しい年度が正式に開始されました。この一年の歩みにも、神様の祝福が豊かにありますように、共に祈りましょう。

- 本日、午後2時から、礼拝堂にて、ウクライナの皆様のためのイースターの祈祷会が行われます。どなたでも参加いただけます。どうぞ、お覚え下さい。

4月21日（月）

午前中、教会で執務します。午後、米山で実践宣証会議に出席します。

4月22日（火）

午前中、「初心に帰ってルカ福音書を読む」を主宰します。午後、「キリスト全国災害ネット」の全体会合にオンラインで出席し、夜、反貧困みやぎネットワークの役員会にオンラインで出席します。

4月23日（水）

午前中、仙台でワイズメンズクラブの会議を主宰し、午後、休暇を頂き、夜、祈祷会を主宰します。

4月24日（木）

午前中、一件の訪問をして「荊冠の神学」読書会と聖餐式を行います。午後、休暇を頂きます。

4月25日（金）

ワイズメンズクラブの会合のために宇都宮に行きます。

4月26日（土）

終日、日本基督教団神戸聖愛教会で行われるチャリティーこさーとに出席しています。

※牧師と面会をご希望される方は、どうぞ、ご遠慮なく教会のメール宛、ご連絡ください。日程を調整して、ぜひお目にかかりたく存じます。